

全国女学生の極秘作戦

ぼくは 風船爆弾

敗戦間際の
「知られざる戦争秘史」

昭和20年（1945年）

原作：『ぼくは風船爆弾』
（高橋光子著／潮出版社）



アニメ&CG、そして実写ドラマ&ドキュメンタリーで描く平和へのメッセージ
ゆうばり国際ファンタスティック映画祭2026特別上映作品

主な出演：山口勝平（風船爆弾の声） 松藤百香 パクン 埴宣之 柴田理恵
城之内正明 結城こと乃
テーマ曲：「ババちゃまたちは伝えます」 作詞：海老名香葉子 作曲：田中和音
監督：松村克弥



2026年 8月15日（土）
台東区立 入谷区民館

10時30分開演

上映時間：78分
費用：無料
定員：80人（申込先着順）

上映プログラムや
会場の地図などに
つきましては、
チラシの裏面を
ご確認ください。



電子申請はこちらから

【主催】 台東区

【問い合わせ】 台東区役所 総務課 総務係 03-5246-1052

2026年 8月15日(土) 10時30分

開演

— 「ぼくは風船爆弾」 上映 —

時代背景と原作者

太平洋戦争中、1944年11月から半年間、茨城県北茨城市などの沿岸から放たれた9,000発余りの風船爆弾。そのうち約1,000発が太平洋を渡りアメリカ本土まで届きました。

勤労働員された女学生たちが、コウゾから和紙を漉き、手作業で気球を作るという辛い作業に耐え、日本陸軍の秘密兵器として作られたのが、この風船爆弾でした。

その女学生の一人であった作家・高橋光子さんは、1988年に北茨城市歴史民俗資料館に展示されていた風船爆弾の写真を目にし、当時の気持ちや戦争の愚かさを伝えるために著作されました。

— 松村 克弥 監督 トークショー —

「平和」に関連した数々の映画をプロデュースしてきた松村監督が、「ぼくは風船爆弾」の映画制作に懸けた思いや、映画を通じて台東区の皆様に伝えたいメッセージなどを語ります。

【上映会場】

台東区立 入谷区民館
4階多目的ホール

【アクセス】

台東区入谷 1-15-6
日比谷線「入谷」駅(徒歩5分)

※当日は、公共交通機関でお越しください。

【申し込みについて】

費用：無料

定員：80人(申込先着順)

申込方法：電子申請 または
下記担当までお電話にてお申し込みください。



申し込みの
電子申請は
こちらから



【主催】 台東区 【問い合わせ】 台東区役所 総務課 総務係 03-5246-1052